

第30回沖縄県海邦銀行杯争奪中学校軟式野球大会

第63回沖縄県春季中学校軟式野球大会

(第40回全日本少年軟式野球大会沖縄県大会)

～競技部資料～



資料1：競技に関するここと（P.2～P.5）

資料2：マナーチェック実施要項（P.6）

資料3：感染症拡大予防対策について（P.7～P.8）

沖縄県中学校体育連盟軟式野球専門部

資料1

## <競技に関すること>

### 1 球場、練習会場について

球 場			練習会場			
ANA BALL PARK 浦添  《球場長》 仲村竜太 (那覇地区専門部長) 代理	開 場	7 : 3 0	サブグラウンド	開 場	9 : 0 0	
	ブルペン	あり		スパイク	可	
	備 考	第1試合 開始時刻 9 : 0 0		打撃練習	バント 1対1のペッパーまで	
				ブルペン	なし	
	注意事項	・公園内（球場周辺含む）には、車両は乗り入れできません。（許可車両のみ可） ・駐車場には限りがありますので、できるだけ乗り合わせでお願いします。		備 考	使用後の整備をお願いします。 入場は監督・コーチ、登録メンバーのみ	
瀬長島野球場 B  《球場長》 安富 高成 (国頭地区専門部) 代理	開 場	7 : 3 0	瀬長島野球場 A	開 場	9 : 0 0 (2試合目のチーム)	
	ブルペン	なし		スパイク	土は可、芝生は不可	
	備 考	第1試合 開始時刻 9 : 0 0		打撃練習	バント 1対1のペッパーまで	
				ブルペン	マウンドの使用可 (2試合目以降は対戦相手と調整して使用)	
	注意事項	・第1試合の練習会場マウンド使用について (1塁側)8:00～8:10 (3塁側)8:15～8:25 +各シートノック時の5分間 ・駐車場に限りがありますので、できる限り乗り合わせでお願いします。		備 考	使用後の整備をお願いします。 入場は監督・コーチ、登録メンバーのみ	
瀬長島野球場 C  《球場長》 幸地俊 (中頭地区専門部長)	開 場	7 : 3 0	瀬長島野球場 D	開 場	9 : 0 0 (2試合目のチーム)	
	ブルペン	なし		スパイク	可	
	備 考	第1試合 開始時刻 9 : 0 0		打撃練習	バント 1対1のペッパーまで	
				ブルペン	マウンドの使用可 (2試合目以降は対戦相手と調整して使用)	
	注意事項	・第1試合の練習会場マウンド使用について (1塁側)8:00～8:10 (3塁側)8:15～8:25 +各シートノック時の5分間 ・駐車場に限りがありますので、できる限り乗り合わせでお願いします。		備 考	使用後の整備をお願いします。 入場は監督・コーチ、登録メンバーのみ	
南城市営新開球場  《球場長》 中村義智 (島尻地区専門部)	開 場	7 : 3 0	レフト後方 広場	開 場	7 : 3 0	
	ブルペン	あり		スパイク	土は可、芝生は不可	
	備 考	第1試合 開始時刻 9 : 0 0		打撃練習	バント 1対1のペッパーまで	
				ブルペン	なし	
	注意事項	・駐車場に限りがありますので、できる限り乗り合わせでお願いします。 ・身障者駐車場や路肩に駐車しないようにお願いします。		備 考	使用後の整備をお願いします。 入場は監督・コーチ、登録メンバーのみ	

## 資料1

### 2 球場内でのアップ

- (1) 第1試合の球場入りは、試合開始90分前より可とする。遅くともオーダー交換時までに行うこと。
- (2) 第1試合の球場内でのアップに限り、チーム統一のTシャツを認めるがシートノックからは試合用ユニフォームを着用すること。
- (3) 芝生保護のため、球場内芝生エリアはスパイクを履いての練習を禁止する。
- (4) 打撃練習はバントまたは1対1のペッパーまでとする。
- (5) 外野ノックはグラスラインより内側（土の部分）から行うこと。
- (6) 第1試合のチームは球場内での練習に登録メンバー以外の部員を入れることができる。サイドノック時のボールボーイはヘルメットを着用し、試合開始45分前（オーダー交換時）には球場内から引き上げること。
- (7) 投球練習の際の捕手（控えの捕手も同様）は、必ず捕手用ヘルメット、スロートガード付きマスク、プロテクター、レガース、ファウルカップを着用すること。また、コーチ1名のブルペン捕手を試合開始まで認めるが、防具については選手と同様に着用するものとする。
- (8) 球場内練習では、競技で使用する以外の道具を使用することを禁止とする。  
例 シャトル、プラスチックボール、サンドボール、ラダー等

### 3 練習会場でのアップ

- (1) 練習会場の使用は、会場到着後本部席（球場長）に確認をとって練習開始すること。その際、設備面・安全面を考慮し、大会本部が使用についての制限を設ける場合がある。
- (2) バッティング練習が可能な練習会場では、安全面に注意して行うこと。
- (3) 練習会場では、可能な限り競技で使用する道具のみを使用すること。
- (4) 第2試合目以降のチームは球場内（フィールド内）のブルペンを使用することはできない。  
※ ブルペンがフィールド外にある場合は使用を認める場合もある。

### 4 オーダーの記入・提出・交換

#### (1) 記入

- ① オーダー用紙は全てフルネームで記入すること。※控え選手もフルネームで記入すること。
- ② オーダー用紙のポジションの記入は数字で記入すること。

#### (2) 提出

- ① オーダー用紙の提出は、第1試合はオーダー交換の10分前まで、第2試合以降は前試合の3回終了までに本部へ提出すること。
- ② オーダー用紙は5部提出すること。

#### (3) 交換

- ① 第1試合目のオーダーの交換は、試合開始時刻の45分前とする。
- ② 第2試合以降のオーダー交換は、前試合の4回終了時に行うこととする。

### 5 シートノック

- (1) シートノックは、試合開始30分前に後攻側から始める。通告時より5分以内とする  
※ 決勝戦は試合開始35分前、7分以内。

## 資料1

- (2) 天候等の事情により省略、短縮、またはサイドノックに変更することもある。  
※ サイドノックでは、芝生保護のため球場内芝生エリアはスパイクを履いての練習を禁止する。
- (3) 相手チームは、完全にベンチ内で待機すること。
- (4) シートノックの捕手は登録選手が防具を着用して行うこと。補助員の捕手は不可。
- (5) シートノック・サイドノックの補助員は全員ヘルメットを着用させること。
- (6) シートノック時の補助員を、登録外生徒（5名以内）で行ってもよしとするが、ユニフォーム、ヘルメットを着用してのボールの受け渡しに限る。※ボールケースは地面に置かないこと。
- (7) 先攻チームは後攻チームのシートノック終了1分前のアナウンスでベンチ前に整列しノックに備える。
- (8) 試合に備えるため、シートノック時のマウンド使用は認めない。※ブルペンでの投球は可。

## 6 用具・装具規定および点検について

- (1) 沖縄県中学校体育連盟軟式野球専門部「用具・装具規定及び運用規定」を遵守すること。
  - ① シューズ・スパイクについては、色の混在を認める。但し、高校野球対応のものとする。  
※ 中体連主催の九州大会・全国大会では色の混在は認められない。
  - ② アームスリーブにおいては、サポーターと同様の扱い(医療目的)とし、使用する場合には、アンダーシャツと 同色とし、投手が使用する場合は両袖の長さを揃えるものとする。  
⇒使用する際はオーダー交換時に申し出ること。
  - ③ リストガードの使用に関する規定について
    - 中体連主催大会(夏季野球選手権大会)においては、リストガードの使用は認められないが手袋とリストガードが一体型のものについては使用可。
    - 連盟主催大会においては、リストガードの使用を認める。手袋とリストガードが一体型のものも使用可。
  - ④ サングラスの使用については、医療目的に限り使用を認める。ただし、投手のミラーレンズの使用は認めない。  
⇒使用する際はオーダー交換時に申し出ること。
- (2) 各チームとも上記の規定を熟読し、事前に用具点検を確実に行うこと。
- (3) 用具点検は、試合前シートノック時にベンチ待機チームに対して行います。
- (4) ヘルメットは、規定に則ったもの (JSBB、~~SGマーク~~あり) を最低限8個以上準備すること。
- (5) 点検の際には、ヘルメット、バット、グラブなど用具をベンチ前に並べ、点検に協力すること。

## 7 試合

- (1) 試合開始のあいさつを終えた後、攻撃側のチームについては打者、次打者、コーチャー以外はベンチ内待機とする。
- (2) 試合中のアップ（キャッチボール）は2組（4名以内）とする。  
※攻守交替時に限り、控え選手がファウルグラウンドでの外野方向へランニングすることは認める。  
※キャッチボールの際のゴロ捕球は禁止。
- (3) 控え捕手も常に捕手用ヘルメット、スロートガード付きマスク、プロテクター、レガース、ファウルカップを着用すること。

## 資料1

- (4) 次打者席では、投手が投球に関する動作（サインを見る姿勢）に入ったら速やかにスイングを止め、投球を注視するものとする。※打者、次打者以外の選手が、フィールド内で素振りを行うことは禁止。
- (5) レッグガードとエルボーガードを外すときは速やかにおこなうこと
- (6) ベースコーチ、バットボーイとともに、規定のヘルメットを着用すること。
- (7) イニングの攻守交代時にヘルメット、グラブの受け渡しがスムーズに行えるように手配すること。
- (8) 攻撃タイムおよび守備タイムは1分以内で行えるようにすること。
- (9) 4回、7回終了時に、会場補助役員がグラウンド整備を行う。
  - ※ 天候によっては行わない場合もある。
  - ※ 整備終了後の直後に登板する投手に限り、ベンチ前でのキャッチボールは認める。
- (9) 天候および負傷（体調不良も含む）による試合の中止は10分を目安として、出場の可否をチームで判断し、試合を再開できるようにする。

## 8 応 援

- (1) 攻撃側のチームが優先となる。
- (2) 試合開始の礼が終わり次第、先攻チームの応援優先となる。
- (3) イニング終わりは、審判の3アウトコールである。その直後からが攻撃側の優先応援となる。
- (4) ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止とする。
- (5) 相手チームへの「やじ」や「走った」等の攻撃側のアンフェアな声かけを禁止とする。
- (6) 投手が投球動作を開始したら、投手の動揺を誘うような声を禁止とする。

## 9 投球制限

投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、下記の通りとする。

・大会中の1日の投球数… 100球

・1週間の投球数… 350球

※試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するか、攻守交代まで投球できる。

## 資料2

# マナーチェックの実施について

沖縄県中学校体育連盟軟式野球専門部

## 1 目的

沖縄県中学校野球選手権大会 大会特別規則10(9)に基づき、学校教育の一環として行われる中体連主催の大会には、中学生らしい服装・マナーで参加させることを目的として、本大会においても参加校登録選手を対象に「マナーチェック」を実施する。

※今大会は接触をさけるため大会役員によるマナーチェックは行いません。各校でチェックして下さい。

## 2 実施方法

- (1) 各校引率教師が責任をもって「マナーチェック」を実施する。
- (2) 点検項目

項目		チェック基準
1	頭髪	相手校に不快感や威圧感を与えるような ○ 染髪や脱色 ○ そり込みや刈り込み ○ 眉ぞり などをしていないか。
2	爪	競技に危険を及ぼすような ○ 故意に伸ばされた爪 ○ 投手指先へのテーピングなどをしてないか。
3	装飾品	競技に支障をきたす（大会取り決め事項に禁止されている）ような ○ 装飾品（ピアス、ネックレス、ミサンガ、リストバンド、リストガード等） を身につけていないか。 ※ チタンプレスレット、ファイティン、ネックレス等の着用は不可。
4	ユニフォーム	全選手が ○ 同色、同型、同意匠のユニフォーム・帽子・アンダーシャツ・ソックス・ オーバーストッキングを着用しているか。 ※ オーバーストッキングは長さ（ローカット、ミドルカット等）を統一したも のを着用すること。カラーソックスは不可。 ※ シューズ・スパイクについては色の混在を認める。但し、高校野球対応の ものとする。 (注) 中体連主催の九州大会・全国大会では色の混在は認められない。

※ 大会2日目以降についても、マナーに関する決まりを守ること。

## 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン【2022.12.8】

本ガイドラインは「沖縄県中学校体育連盟主催大会開催時の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に準じて作成しています。大会に関わる全ての方に、ガイドラインの遵守をお願いします。今後の知見の集積及び新型コロナウイルスの感染状況により、隨時見直すことがあり得ることにご留意ください。

### 1 競技運営について

#### (1) 開閉会式

- ① 開会式は行わない。※開始式として優勝旗返還を行う。
- ② 表彰式及び第3位表彰については、関係するチームのみが参加して表彰を行う。

#### (2) 感染拡大予防対策※詳細については各競技で作成する

- ① オーダー交換及び攻守決定時や大会運営側ならびに審判員からの諸注意をチームに伝える場合は、各自マスクを着用して行う。その際の握手等の接触は行わない。
- ② 練習及び試合において、全選手が密集・密接する円陣や声出し、整列などは行わない。
- ③ 試合間のインターバルを通常より長く設定し、選手並びに関係者の密集リスクを回避する工夫をする。  
→ ベンチ入れ替え時にベンチ内の消毒を行う。
- ④ 試合前及び試合終了後のあいさつは、従来通りにホームベース付近にて整列して行うが黙礼とする。
- ⑤ 試合用ロジンバッグはチームにそれぞれ配布し別の物を使用させる。
- ⑥ ベンチに入る指導者等はIDを着用する。
- ⑦ 屋外利用施設内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。
- ⑧ こまめな手洗い、手指消毒剤を隨時使用できること。(各チームでも準備するのが望ましい)
- ⑨ タオルの共有はしないこと。
- ⑩ 別のチームとの接触を行わない。

### 2 大会参加について

#### (1) 沖縄県中学校体育連盟「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に準じ下記の記録等を提出する。

##### 【参加チーム・個人(登録選手・引率・監督・コーチ)】

- ① 「体調記録表」(別紙1)を大会2週間前より記録する。(顧問は、日々選手等の体調を確認する)
- ② 「学校同行者体調記録表」(別紙2)を大会当日、受付に提出する。(専門部で1か月保管)
- ③ 「参加同意書(別紙5)」を各学校でまとめる。(参加校で1か月間保管)※情報公開承諾確認含む
- ④ 「応援者名簿(体調記録表)(別紙6)」を大会当日、受付に提出する。(専門部で1ヶ月保管)

##### 【競技役員・審判員・管理職等】※救護役員(保護者)が入る場合がある

- ① 「体調記録表」(別紙1)を大会2週間前より記録する。(各自で1か月保管)
- ② 「来場者体調記録表」(別紙3)を大会当日、受付に提出する。(専門部で1か月保管)

#### (2) 大会参加についての確認事項

- ① 陽性または濃厚接触となった選手・職員については、保健所が指定する解除日まで、大会参加はできない。但し、濃厚接触者については、濃厚接触日から2・3日目の抗原簡易キット検査陰性であれば3日目解除となるのでその限りではない。
- ② 【保健所等による濃厚接触者の特定・行動制限は行わない地域】において、同居家族以外の感染者と接触したものが登校可能になった場合は大会に参加はできる。
- ③ 【保健所等による濃厚接触者の特定・行動制限は行う地域】において、出席停止、学級閉鎖、学年閉鎖、

学校閉鎖に該当する者は、濃厚接触者が特定されるまでの期間は大会参加できない。ただし、濃厚接触者の特定が終了した後、接触者については登校可能になった場合は大会に参加はできる。濃厚接触者及び接触者とされなかった者は大会に参加できる。

- ④ 大会当日の検温と風邪症状の確認において、発熱等の風邪の症状がある場合は参加できない。

※地域の感染レベル2以上の地域では、家族に風邪症状がある場合も参加できない。

※大会参加については「学校で児童生徒等や新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応ガイドラインのオミクロン株に対応した運用に当たっての留意事項について」（沖縄県公立学校第3版令和4年4月1日適用令和4年6月10日一部改正）等を参照に、参加校の校長・引率者等による適正な判断をお願いします。

※大会役員として参加する場合は、各自で健康管理を徹底し、少しでも体調不良がある場合は無理をせず専門部へ連絡をし、自宅待機を行うこと。

### 3 救護役員・応援者等（保護者等）について

(1) 3密を避けることなど感染症対策が徹底できる場合には、部員、登録選手の親族、学校職員のスタンドへの入場を感染状況に応じて認める。その場合においても、観戦中及び移動の際も、人との距離を十分に確保すること。

(2) 各自分で検温を実施し会場に来ることを原則とするが、会場内での検温を拒むことがないようにすること。

(3) 応援を希望する者は2週間前までに顧問へ伝え、沖縄県中学校体育連盟「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に準じ、下記の記録を行うとともに、チーム責任者は応援者（保護者等）体調記録表（別紙6）を作成し大会当日に大会本部へ提出する。

1) 「体調記録表」（別紙1）を大会2週間前より記録する。（個人で1か月間保管）

2) 「行動記録履歴書」（別紙4）を大会2週間前より記録する。（個人で1か月間保管）

※罹患者が発生した場合、別紙4の提出が必要となる場合がある。又、必要な書面について各関係機関に提出する場合があることを承諾すること。

(4) 保護者等はネックストラップ型IDカードを各チームで準備し、チームの応援者とわかるようにすること。

1) 試合前にチーム責任者及び保護者代表者を本部に招き、感染症対策について説明を行う。

① 保護者代表者は説明を受けた事項について自チームの保護者へ周知し、徹底した対策を行う。

② 試合をするチームのみの入場とするため、完全入れ替え制を行う。（入場・退場するタイミングを確認する）

③ 名簿に登載されていない者やIDを身に付けていない者の入場を認めない。

(5) 大会開催中（球場入場時）の応援について

1) 風邪症状のある者（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）及びマスク非着用者は入場不可とする。

① 熱中症が懸念される場合は、「こまめな水分補給」「周囲の人と距離を十分にとれる場所で、マスクを一時的にはずして休憩」も状況に合わせて促す。

② 場内放送にて隨時、球場内におけるマスクの着用等の案内放送を実施する。

2) 大声での応援を行わない。（太鼓等、鳴り物の持ち込みも禁止とする。）

3) 大会運営側による注意・指導に応じない場合には、試合の中止や中断もあることを心得ること。

### 4 感染者および感染が疑われる人が確認された場合の対応

会場に救護係を配置し、感染および感染が疑われる場合は、関係機関に連絡し、速やかに対応する。

※新型コロナウイルス感染症相談窓口（コールセンター）：24時間対応098-866-2129

### 5 その他

本大会は県中体連「個人情報保護方針」に則り行います。大会中に撮影した写真や動画を無断でSNS等のインターネット上に掲載しないようお願いします。